



〈学校教育目標〉
胸を張って堂々と生きる

(校訓)
あかるく・つよく・やさしく

国分小学校ホームページURL <http://www.mct.ne.jp/users/kokubues/>

子供を理解し、共に支える～チーム国分小～

校長 鮫島 俊之

令和8年度が、100人の新入生を迎え、643人(34学級)の子供たちと67人の教職員でスタートしました。今年度も充実した1年となりますよう、全職員一丸となって頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、国分小の学校教育目標は『胸を張って堂々と生きる』です。シンプルで分かりやすく、子供たちや職員にも浸透してきています。子供たちが「自信」をもって、「安心」して学校生活を送りながら、「信頼」関係を築いていけるようにサポートしていきます。

子供たちが学校生活を送る中で、友達との関わりは欠かせないものです。その中で、子供たちは人間関係を学んでいきます。そのような中で、「いじめ」が起きることもあります。そこで、保護者の方々に「いじめ」について知っておいていただきたいことをこれから記します。

「いじめ」とは、特別な出来事だけを指すものではありません。いじめの定義は、子供が「心や体に苦痛を感じている状態」があれば、いじめとして捉えます。

例えば、次のようなこともいじめにあたる可能性があります。

- ・「遊び」のつもりであっても、相手が嫌がっている、「からかい」や「いじり」
- ・仲間はずれや無視をすること
- ・見た目や性格について、言われて傷つく言葉
- ・軽くぶつかる、物を隠す・勝手に使うなどの行為
- ・SNSやメッセージでの悪口や仲間外し

これらは、行った側に悪気がなくても、受けた側がつらいと感じていれば、いじめとして対応が必要になります。

本校では、いじめの可能性が確認された場合、早期解決のために関係する双方の御家庭へ連絡をさせていただきます。これは、どちらか一方を責めるためではなく、事実関係を丁寧に確認し、子供たちのよりよい成長につなげるためのものです。

そのため、場合によっては、「自分の子供は悪くないのに、なぜ連絡が来るのか。」と感じられることもあるかもしれません。しかし、学校としては、すべての子供たちの安心・安全を守るため、関係が考えられる場合には、双方にお知らせし、状況を共有させていただいております。

保護者の皆様におかれましては、

- ・お子様の話をまず受け止めていただくこと
- ・一方的に決めつけず、学校と連携して見守っていただくこと

に御協力いただけますと幸いです。

学校と家庭が同じ方向を向いて子供たちを支えていくことが、何より大切だと考えております。職員一同、いじめの未然防止、早期発見に努めてまいります。

今後とも、御理解と御協力をよろしく願いいたします。